

(3) 不良債権処理の進捗状況

15 年 3 月期の不良債権処理額は、一般貸倒引当金を含め、1 兆 745 億円と計画値を 5,745 億円上回る結果となりました。これは、金融再生プログラム等の趣旨を踏まえ、不良債権の積極的な処理を実施したことによるものです。具体的には、不良債権の最終処理(オフバランス化)の更なる促進を図ったほか、将来リスクへの一層の対応強化といたしまして、D C F 法の適用等による要注意先(含む要管理先)に対する引当率の引上げ、債務者の再建進捗に伴うコストの手当て等を実施いたしました。

なお、14 年度におきましては、貸出金償却、債権売却等により元本総額で 2 兆 2,283 億円のオフバランス化を実施しております。

また、経済合理性、経営責任の明確化、社会的影響を考慮した上で、7 社、1,771 億円の債権放棄を実施いたしました。